

令和3年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

分野別

Ⅱ. 中高連携教育 編



神石高原町教育委員会

目 次

Ⅱ. 中 高 連 携 教 育 編

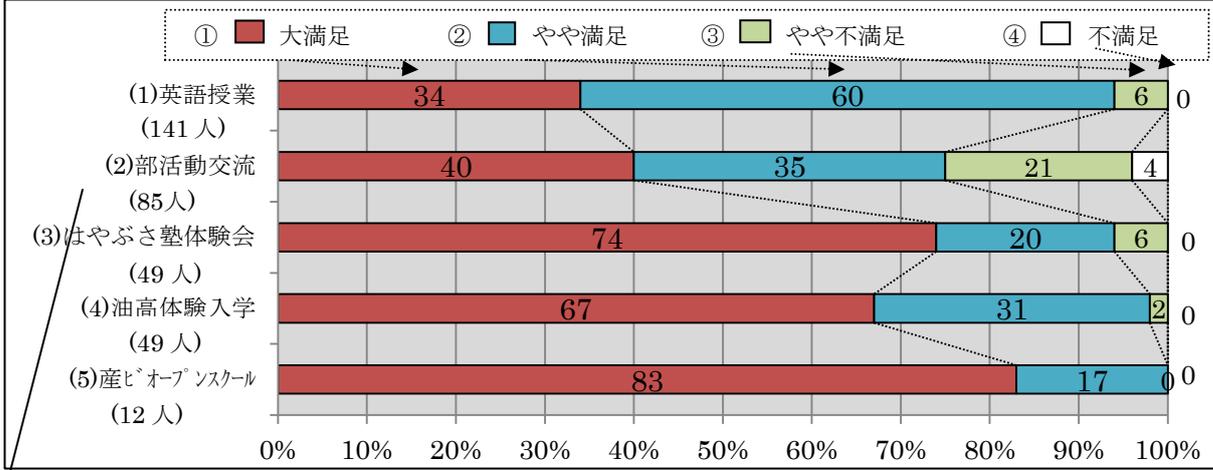
	ページ
1. 中学生 編	1 ~ 5
2. 高校生 編	5 ~ 7
3. 中・高 教職員 編	8 ~ 9
4. 小・中 保護者 編	10 ~ 13
5. 地 域 編	13

回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>155人</u> / 在籍者数	163人
2. 高 校 生	回答者数 <u>154人</u> / 在籍者数	165人
3. 中・高 教 職 員	回答者数 <u>48人</u> / 全教職員数	50人
4. 小 学 校 保 護 者	回答者数 <u>154人</u> / 対象児童数	163人
5. 中 学 校 保 護 者	回答者数 <u>155人</u> / 生徒総数	163人
6. 地 域	回答者数 <u>77人</u> / 質問者数	110人

1. 中学生 編

1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり行事に参加したことのある人は、その感想を教えてください。

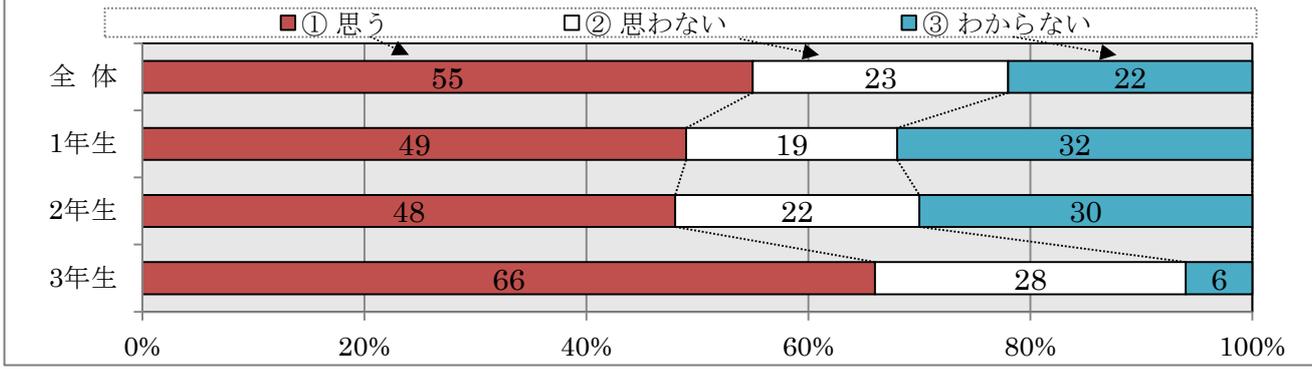


<交流状況> 卓球（三中：6人+神中：10人）、バレー（11+8）、ソフトテニス（3+2）、野球（11+7）、陸上（7+0）
吹奏楽部（10+5）、美術部（0+4）、剣道（1+0）

考察 ・交流授業で「英語」の授業満足度は94%（昨年：92%）が「大満足・やや満足」で、本年度も高い肯定的回答であった。しかし、今後一層「大満足」を高めていくためには、町研教科部会等で情報交流・授業交流などしながら有効策を追及していく必要がある。
・その他の項目の中では、これまで「大満足」が一番多かった「部活動交流」は、本年度は半分以上となったが、これはコロナ対策で十分な交流ができなかったためと考えられる。

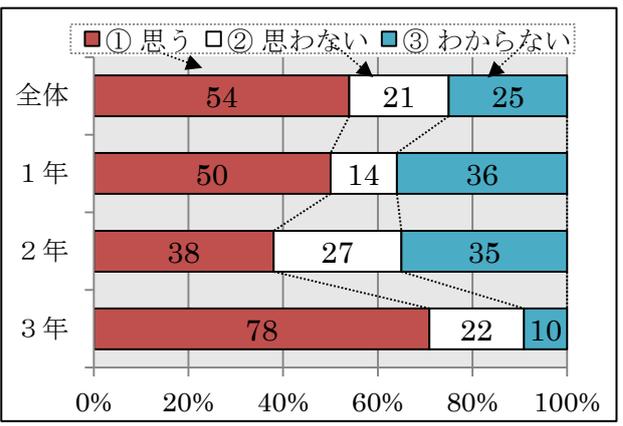
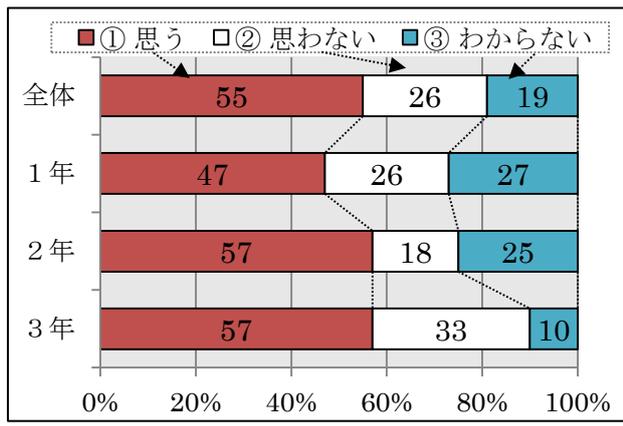
2 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

< 2校全体では >



< 三和中 >

< 神石高原中 >



考察 ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は55%（前年46%、前々年38%）で、今までで1番高い数値（2番目はH27：49%）で、50%以上も初めてである。

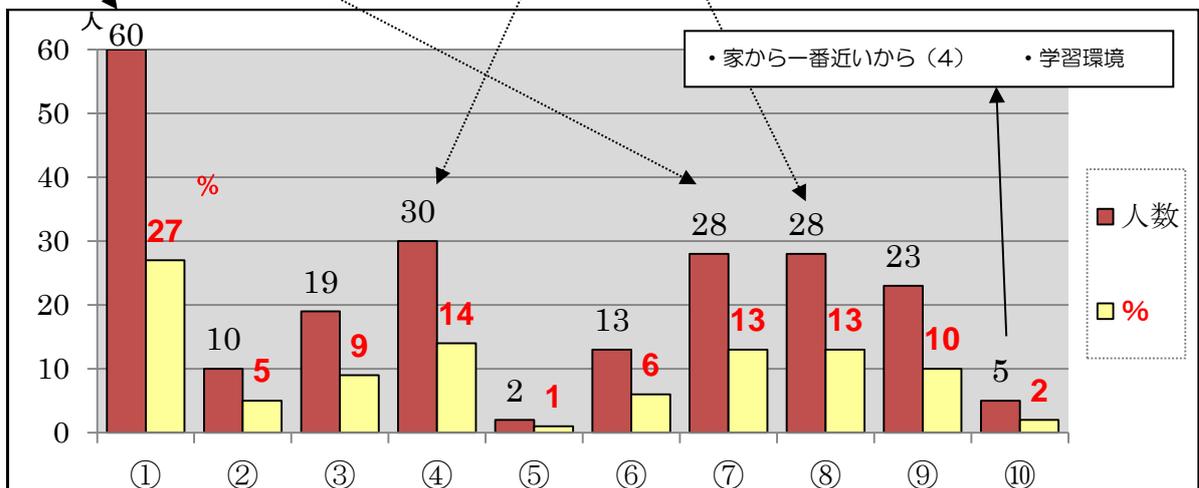
・全体の学年別でも、3年生の「思う」が66%で一番高く（R2年61%、R1年61%、H30年54%）、一つの目標数値である60%以上をクリアが続いている。また、経年比較でみると（昨年度の1年生41%→本年度の2年生48%、昨年度の2年生35%→本年度の3年生66%）というように年々増加傾向になっている。これは、学校現場の取組みと地域あげでの取り組みの成果が伺われる。

・学校別においても、両校とも「油木高校へ進学したいと思う」率が3年生は前年の数値（前年時の数値：三和中22%、高原中32%）を大きくクリアしている。これは学校の取組みと保護者の理解によるところが大きい。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。（複数回答可）

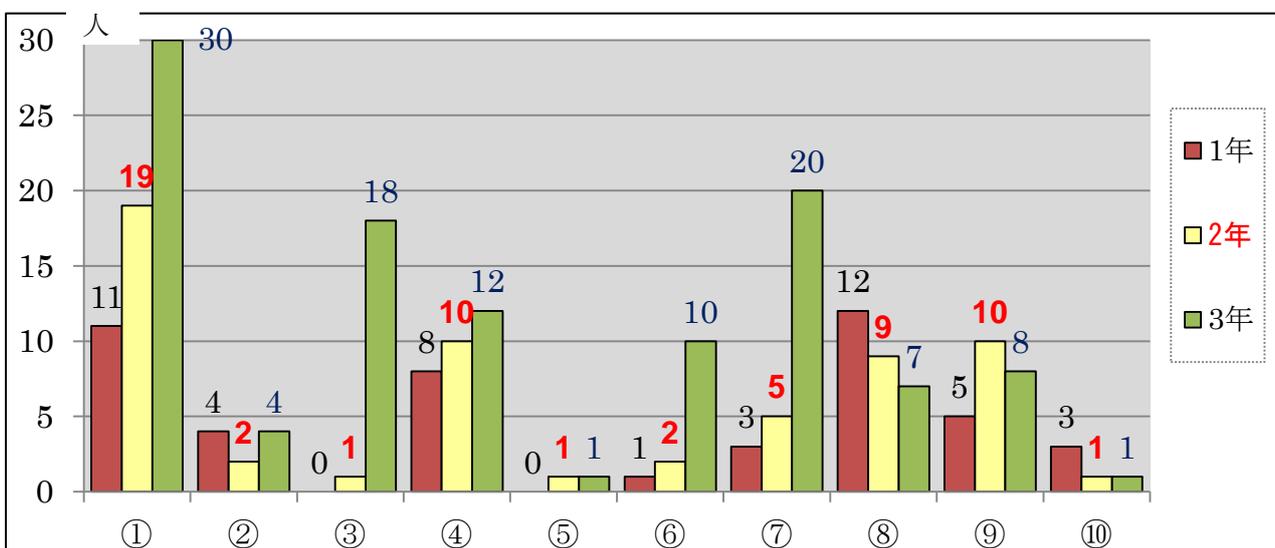
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



< 学年別の人数では >

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



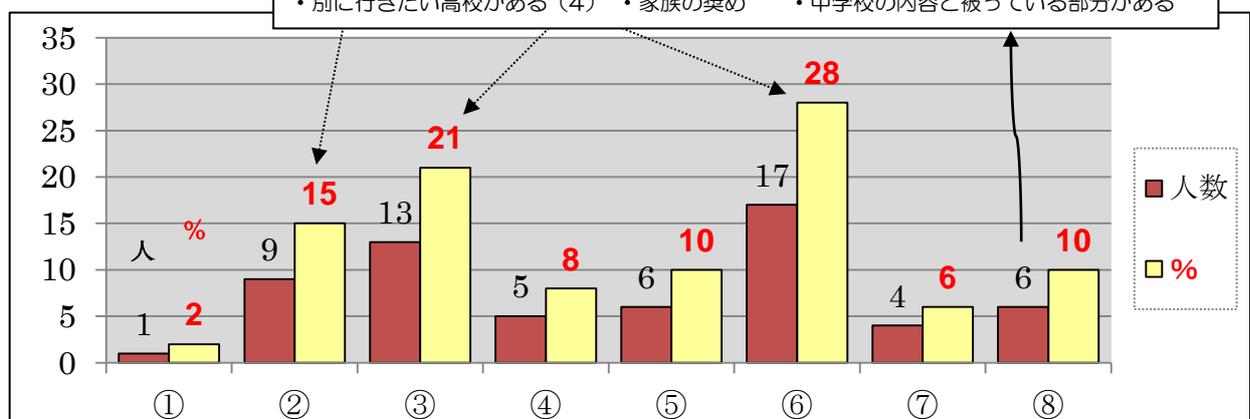
考察 ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利（27%）、2位：④ クラブ活動（14%）、3位：⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）・親、家族の薦め（13%）で、「クラブ活動」が上位に来たのは初めてである。

・学年別で特徴的なものとしては、3年生が他学年にはあまり無い項目（⑦「町の支援」、③「教育内容面」、⑥「施設設備がよい」）を多く挙げている。これは、3年生が油木高校体験入学などを通して油木高校の良さを多方面にわたって感じているものと思われる。

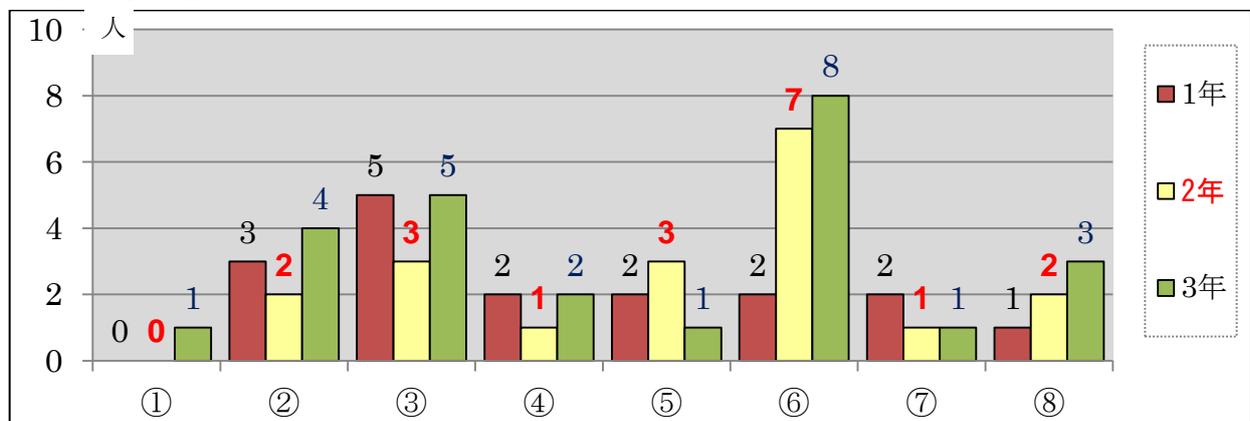
(3) 3(1)の質問で「②（油木高校へ進学したいと） 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。（複数回答可）

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

<2校全体では>



<各学年別の人数では>



考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」（28%）、2位：③「クラブ活動面」（21%）3位：②「教育内容面」（15%）、となっており、ほぼ例年とあまり差異はない。

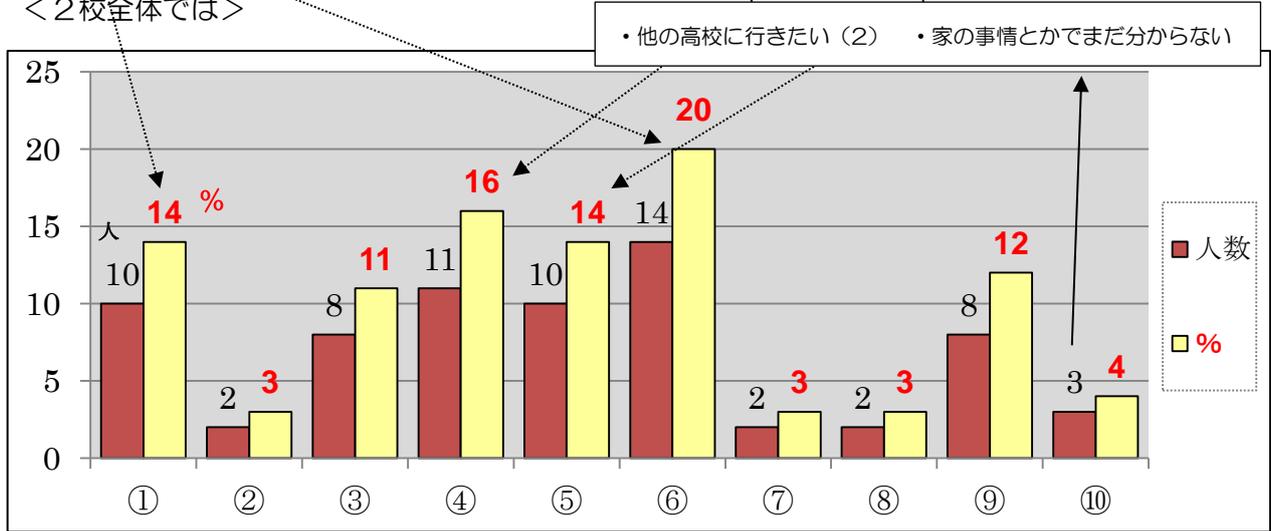
・例年のごとく本年度も「（油木高校へ進学したいと） 思わない」理由の中で、⑥「高卒後の進路面」が最も多い。それだけに町内中学校での進路説明会時に油木高校担当教員が「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるように思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ上でしっかりと紹介していく必要がある。

・各中学校において、油木高校生（特に出身中学生）が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語って頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会（例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など）が持てれば、大変効果があると思われる。←（高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく）

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

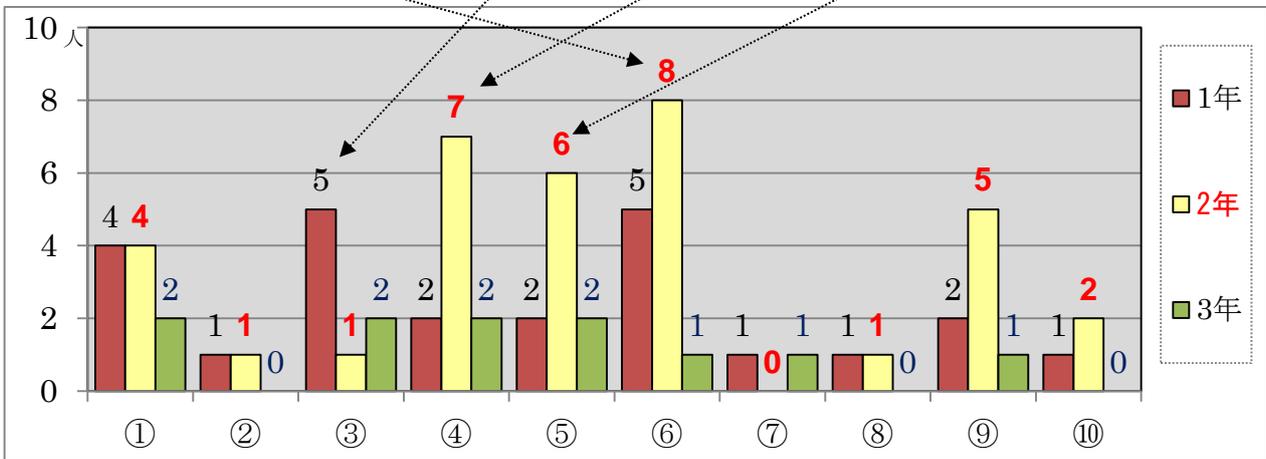
- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

<2校全体では>



- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

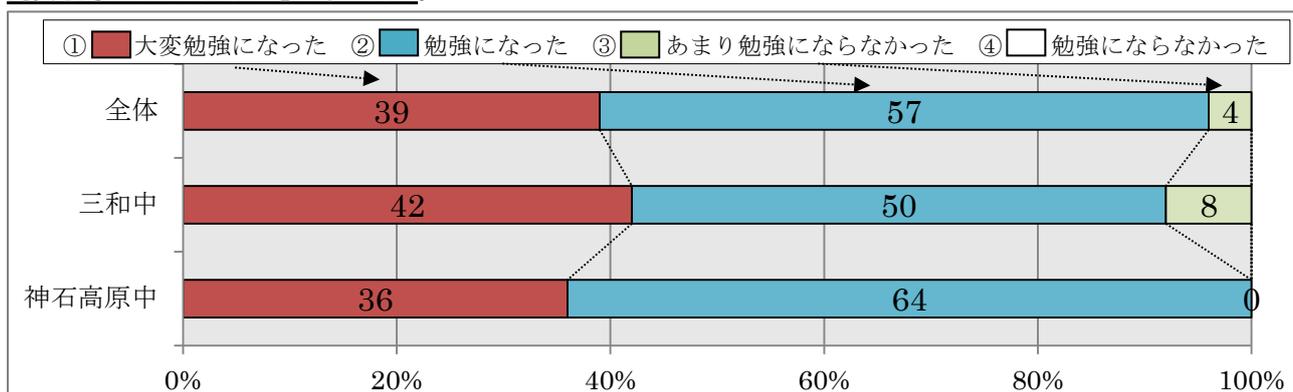
<各学年別の人数では>



考察 ・2校全体で多い順は、1位：⑥「クラブ活動面」(20%)、2位：④「教育内容面」(16%)、3位：①「通学便」・⑤「施設設備面」(14%)となっており、例年と比較して多少順位は違えどあまり大差はない。

・各学年別に見たときの特徴としては、1年生は③「進路実績」が他学年に比べて多く、2年生は⑥「クラブ活動面」次いで、④「教育内容面」、⑤「施設設備面」などが他学年と比べて多かった。3年生は全体的に人数が少なく、突出したものもない。

③ 本年度 12 月 15 日に油木高校が実施された「総合的な探求の時間」等の学習成果発表会に参加した生徒で、高校生の発表を聞いてどのように感じましたか。



- 7 -

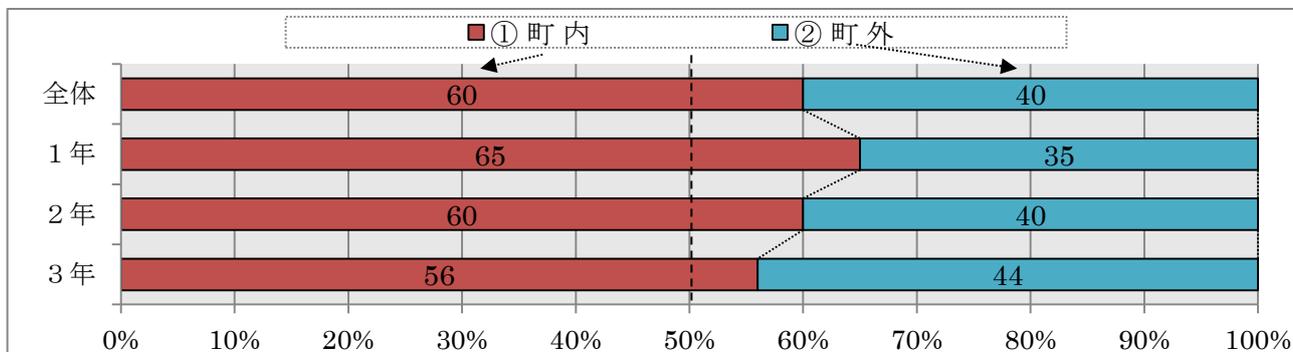
考察 ・ほとんどの生徒が「大変勉強になった・勉強になった」との肯定的評価をしている。

・両中学校とも 2 年生が学習成果発表会に参加しているので、今後の学習に役立つものと思われる。そして、油木高校の普通科そして産業ビジネス科の学習内容も少しは理解できたのではないかとと思われる。

・「総合的な学習（探究）の時間」は中高連携教育の軸となっているので、小学校を含めた小・中・高が共に研究しながら、今後一層中身の充実を図っていく必要がある。

2. 高校生 編

① あなたの出身中学校は、どちらですか。



< 学年別・学科別の人数表 >

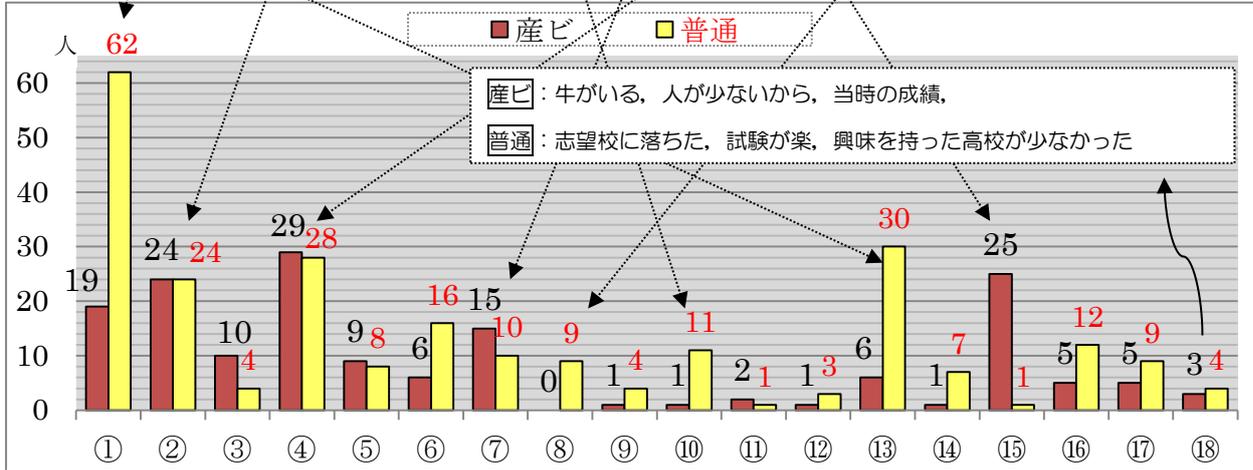
(人)

	産業ビジネス科			普通科			計		
	町内	町外	計	町内	町外	計	町内	町外	計
1 年生	6	14	20	25	3	28	31	17	48
2 年生	9	17	26	26	6	32	35	23	58
3 年生	8	15	23	19	6	25	27	21	48
計	23	46	69	70	15	85	93	61	154

考察 ・全体的には、6 対 4 で町内生徒が多いが、学科別でみると、産ビ科の町外生徒が 67% と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26 年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、最近では次第に増加傾向にあると言える。

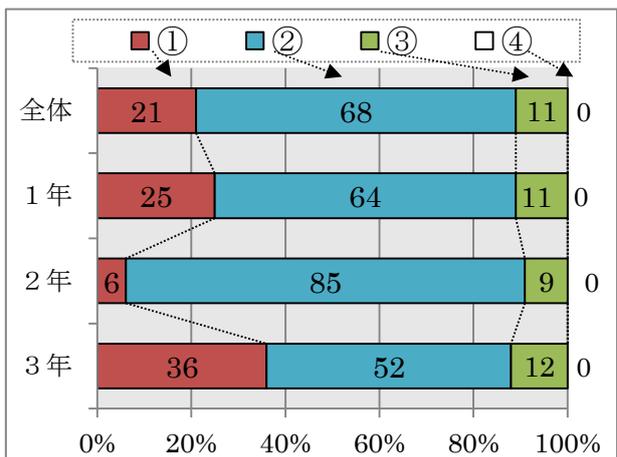
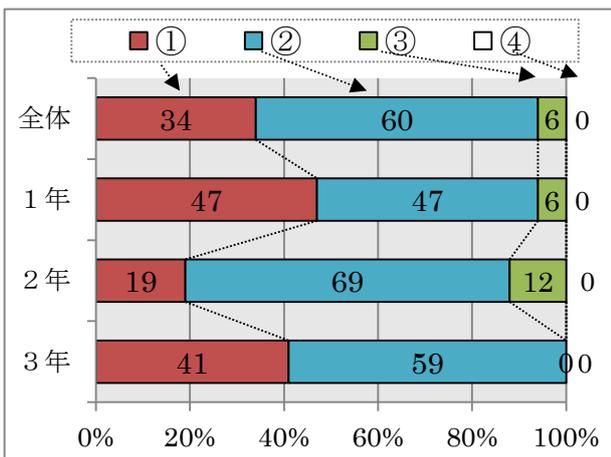
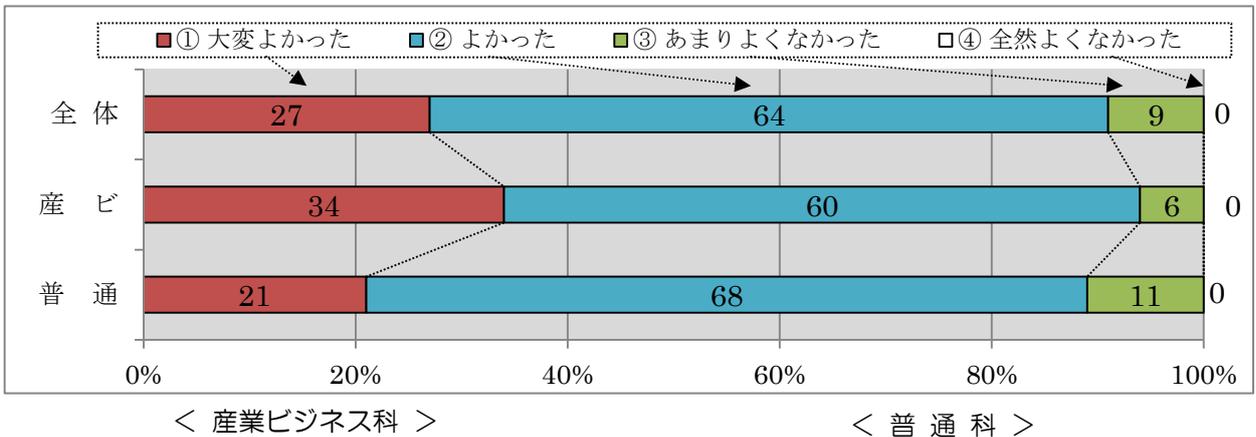
② あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① 自宅から近い
- ② 親・家族の薦め
- ③ 先生の薦め
- ④ 自分の希望
- ⑤ 教育内容面
- ⑥ 部活動面
- ⑦ 寮がある
- ⑧ はやぶさ塾がある
- ⑨ 放課後神ゼミがある
- ⑩ 海外研修がある
- ⑪ 進路実績
- ⑫ 評判
- ⑬ 友人関係
- ⑭ 経費が安い
- ⑮ 学科への興味
- ⑯ 通学費の補助
- ⑰ 兄弟が通学している
- ⑱ その他 ()



考察 ・全体的には、①「自宅から近い」や④「自分の希望」、そして②「親・家族の薦め」が多い。
 ・学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」⑧「はやぶさ塾がある」⑩「海外研修がある」⑬「友人関係」が多く、産ビ科では⑦「寮がある」⑮「学科への興味」が多いのが特徴としてあげられる。

③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



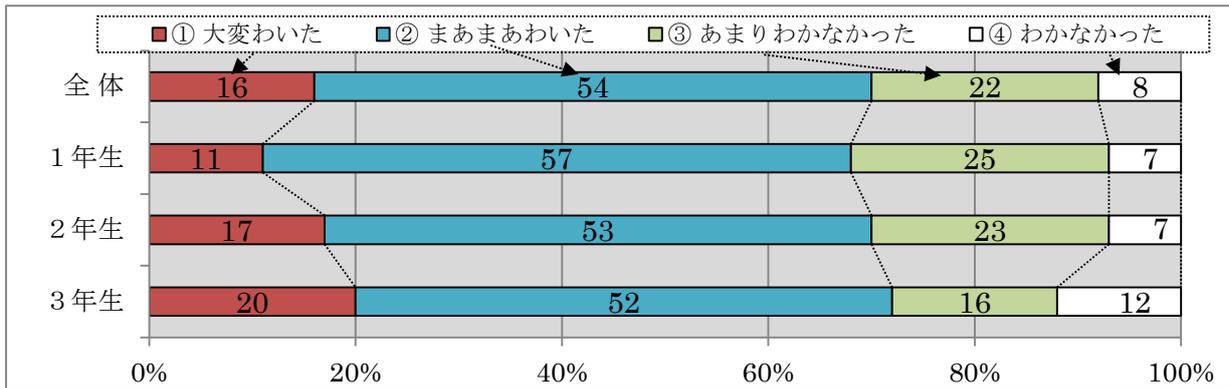
考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（91%：昨年86%）が「よかった」と肯定的回答をしている。

・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で34%（昨年34%）、普通科は21%（昨年23%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科6%（昨年12%）、普通科11%（昨年16%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、産ビ科・普通科共に0%であった。

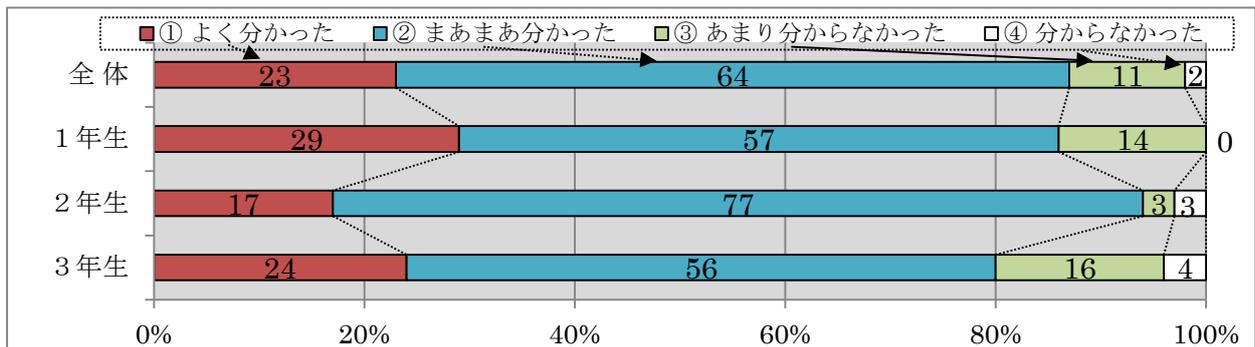
・学年、学科ごとでは、3年生の産ビ科が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年96%→100%）、同じく2年生は（昨年77%→88%）、一方、普通科3年生は（昨年81%→88%）、2年生は（83%→91%）といずれも前年を上回る回答率であった。

4 本年度の「総合的な探究の時間」について質問します。 *普通科の1～3年生のみ答えてください。

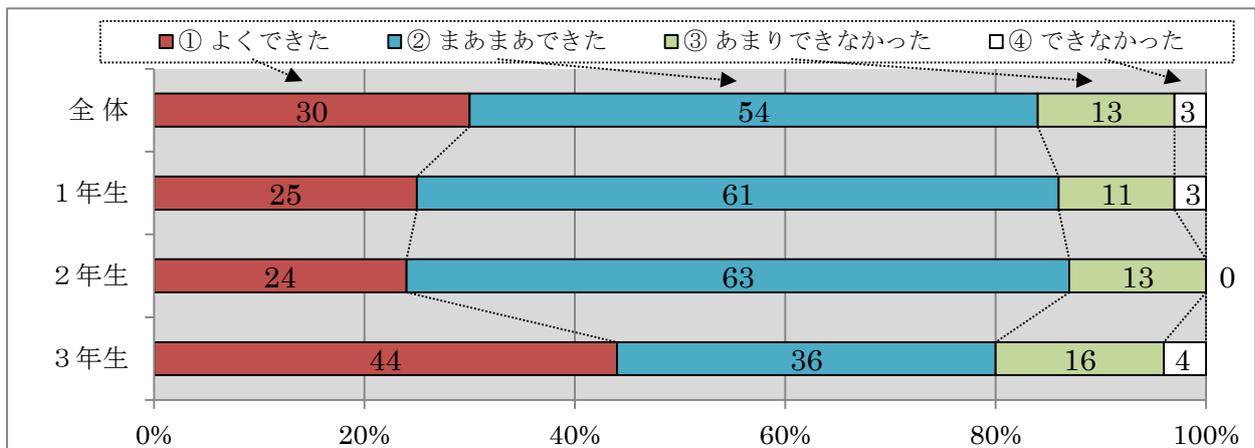
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。



(2) 授業内容は分かりましたか。



(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。

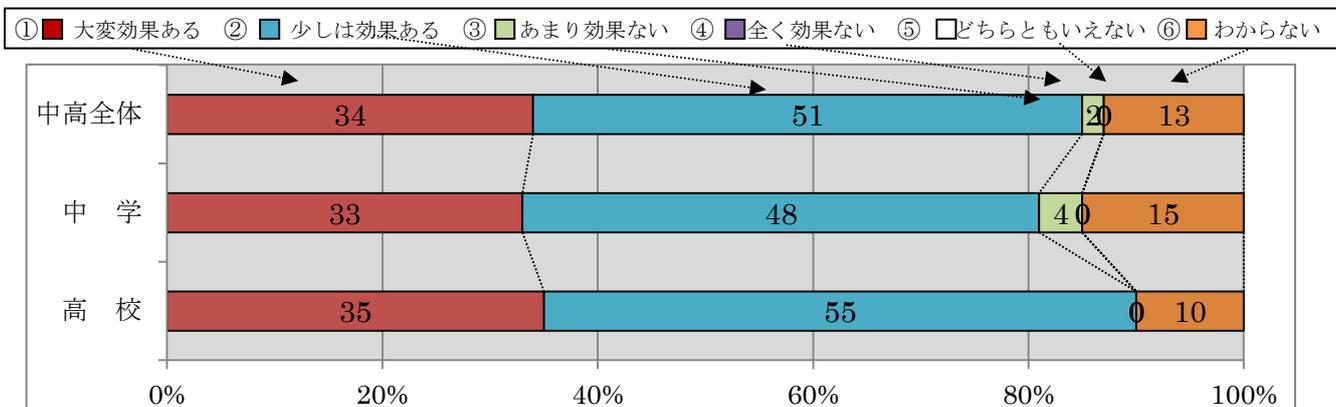


考察 ・普通科の全学年に「総合的な探究の時間」について、(1)で興味・関心・意欲、(2)で理解度、(3)で態度・活動面をそれぞれに質問したのですが、どの項目についてもあまり学年差は感じられなかつた。その中で、(3)の態度・活動面で3年生約半数（44%）の生徒が積極的に活動が「よくできた」との高い自己評価をしていた。

3. 中・高教職員編

① 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

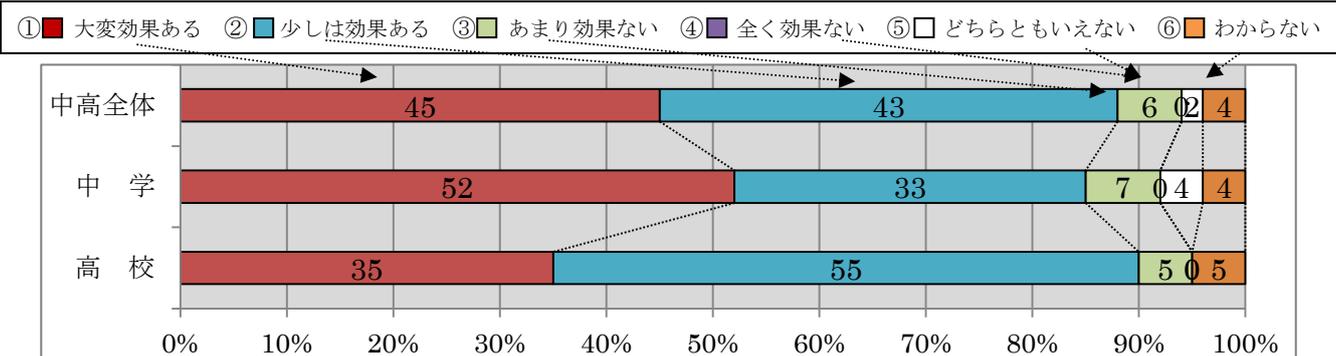
(1) 定例的交流授業（高→中：英語，中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

(中)・特定の教科のみで効果が実感できない ・日程調整が必要
 (高)・当該教科への負担がある ・交流授業は良いが当該教科に負担が大きい。もっと県のバックアップが欲しい
 ・勤務校の授業があまり持てない ・他の教科でも年1回の単発でよいので実施できないか ・他教科でも実施可能か
 ・もっとそれぞれの校種の特徴や良さがわかるような工夫が出来ればよいと思うのですが
 ・実施側として、中高連携を行うことでどのようなプロセスでどう変容させたいのかが不明瞭で、期待通りの機能を果たしているのか不安です

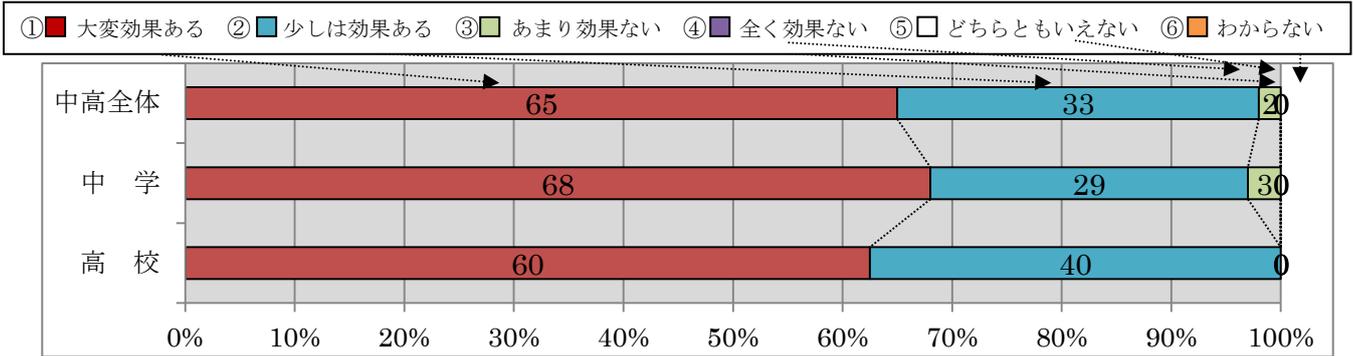
(2) 部活動交流について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

(中)・日程調整が難しい ・部活によっては日程が合わず難しい ・学期に一度でも交流ができると大変効果があると思うが、現状難しい ・したくてもするまでの手続きや移動、コロナに対する対策の違いなどからうまく進まない。スマートにならないだろうか (高)・日程や移動が難しい (2) ・日常的なものになれば良いが難しい
 ・競技の特性上難しい部活動もあるかも知れないがもっと交流があってよいと思う ・コロナ禍が続く中での実施は工夫が必要
 ・もっと交流の機会を増やす方が効果が上がると思う ・予算以外で交流の枠組みや機会提供があると連携しやすいが、現状顧問裁量に委ねられ過ぎではと感じる。

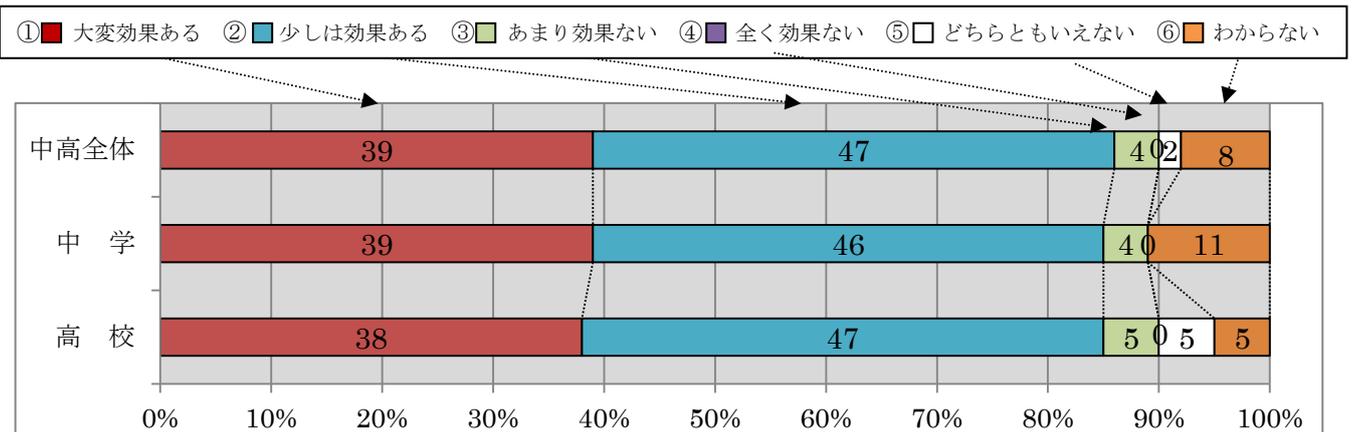
(3) 学校行事（オープンスクール・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

(中)・オープンスクールで志望を変えた生徒もいる ・高校の良い姿を見せるのは進路先としても良いイメージにつながると思う ・日程調整 (高)・町教委がどういう関わり方をしているのかピンとこない ・交流機会を増やし、町外進学を減らすよう努めては ・課題ではないが中学校の取組内容も知りたい ・行事の幅を広げて球技大会や運動会などの交流を考えてみたらよいのではないのでしょうか

(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。



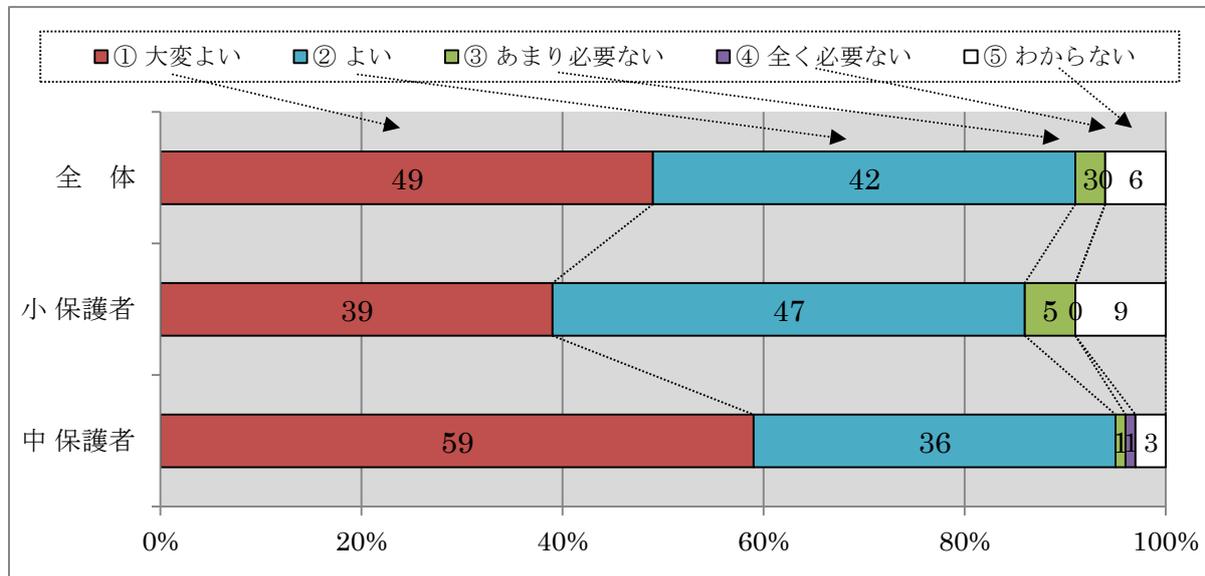
<推進上の課題>

(中)・今年度は出来ていない ・日程調整
(高)・普段から相互の授業を参観したり意見を交換する機会を増やす方が良いと思う ・余裕がない

考察 ・中高全体では、どの項目も「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が80%以上ある。なかでも、「学校行事への参加」は98%の高い肯定的評価で「効果がある」との認識が非常に高い。
・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」等をいろいろあげて頂いているので、いずれも教育内容に関わるものだけに、一つ一つ中高一貫教育推進委員会を中心として、校長会や事務局会等で検討し、今後の方向性を出していく必要がある。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合ってみる必要がある。

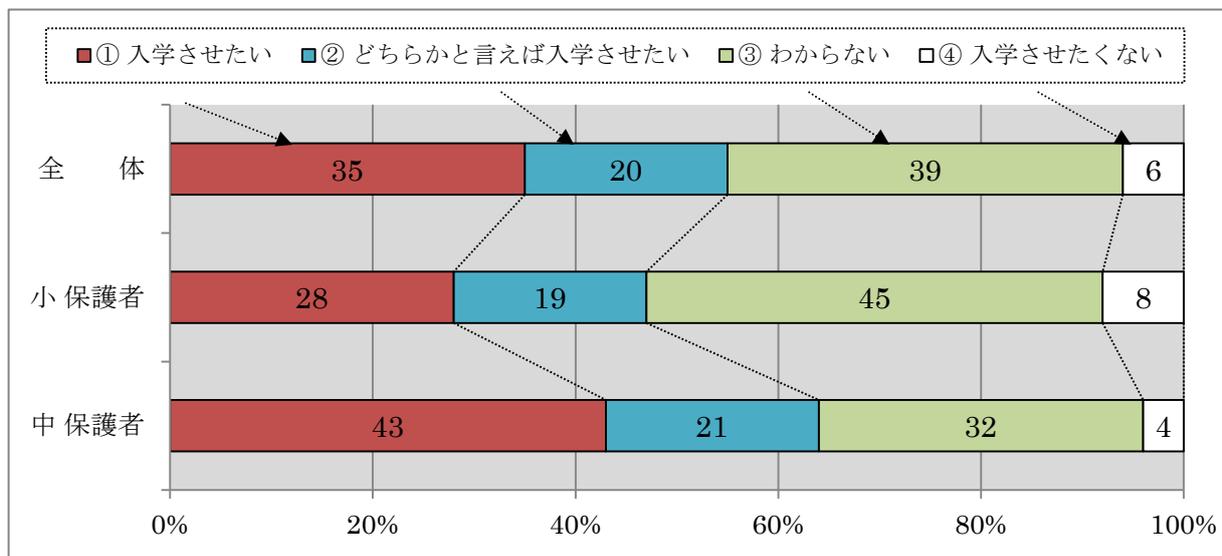
4. 小・中 保護者 編

- 1 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。

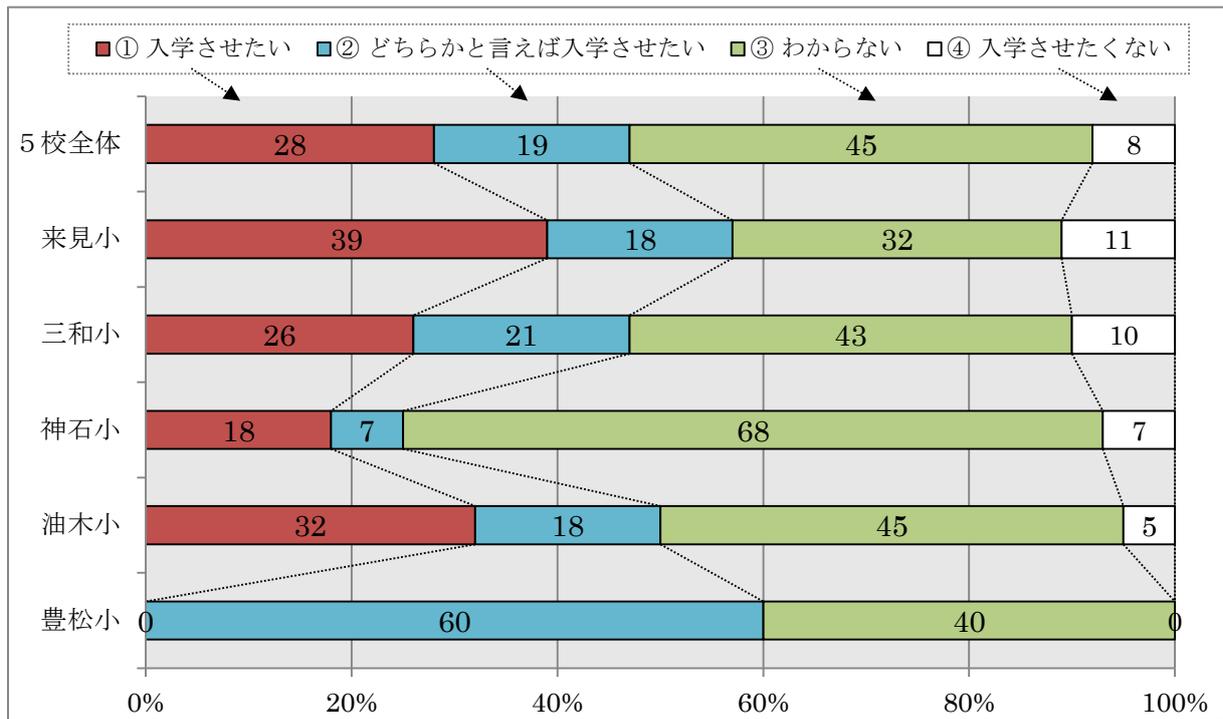


考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答 85%（昨年 86%）、「あまり必要ない・全く必要ない」の否定的回答 2%（昨年 3%）と大きな変化はない。また、「わからない」とする数値 13%（昨年 11%）で、特に小学校は 17%あり、これまで小学校保護者への情報提供は、広報紙『中高一貫教育ジャーナル高原の風』に連携教育の取組みを紹介したり、ケーブルテレビの活用（次世代議会など）を図ってきたが、今後も一層の情報提供に努めていかなければならない。

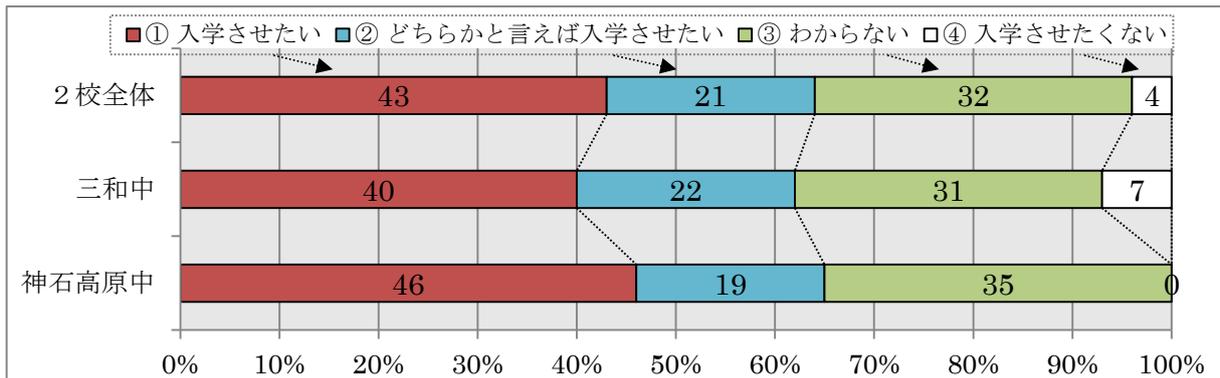
- 2 (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



＜各小学校別では＞



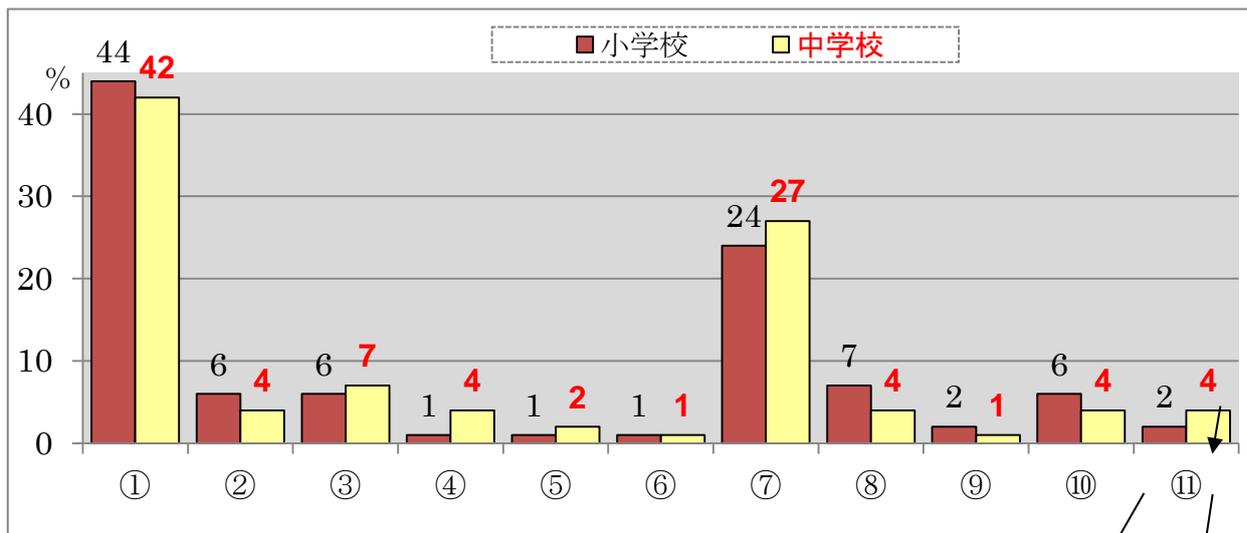
＜各中学校別では＞



考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は53%（昨年53%、一昨年46%）で昨年と同じであった。
 ・小中学校別では、どの項目も小中学校の差はこれまでほとんど見られなかったが、本年度は「わからない」は小学校が多く、「入学させたくない」は中学校が多かった。
 ・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が4校（昨年4校）である。中でも、油木小学校65%、豊松小学校63%と高い肯定的回答である。
 ・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率が50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が多いだけに、今後の取組みによって「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思ふものを下の中から選んでください。（複数回答可）

- | | | | | |
|-----------|--------------------|-------------|----------|--------|
| ① 通学に便利 | ② 進路実績 | ③ 教育内容面 | ④ クラブ活動面 | ⑤ 察がある |
| ⑥ 施設設備がよい | ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修 等） | ⑧ 学校や生徒の雰囲気 | | |
| ⑨ 家族等の薦め | ⑩ 友人関係 | ⑪ その他 | | |



⑪ その他（小学校）

- ・長女が今年油木高校卒業予定で、良い学校だと思います。
- ・生徒一人一人に指導が行き届く。
- ・油木高校の卒業生だから
- ・本人の希望だから

⑪ その他（中学校）

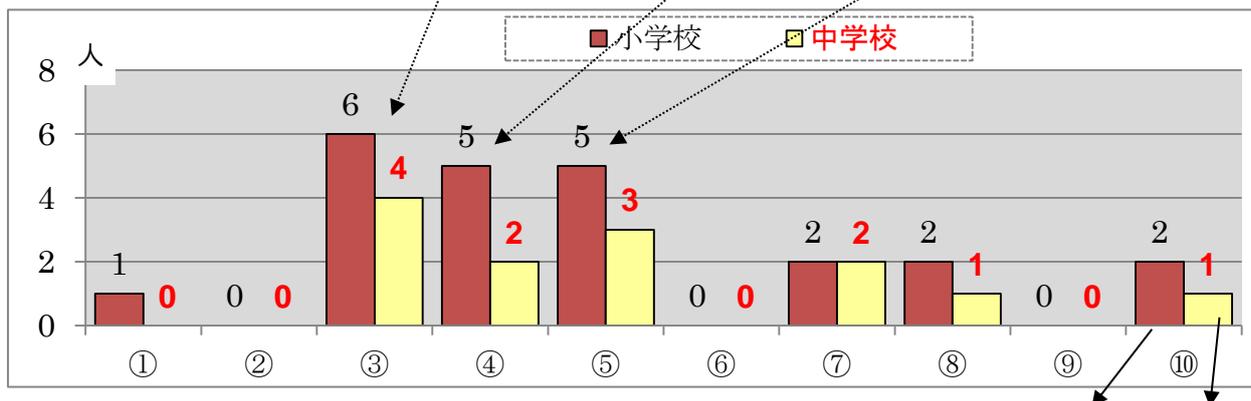
- ・個性も大切にされていて生徒も楽しそうに見える。(2)
- ・長女が今年油木高校卒業予定で、良い学校だと思います。
- ・福山へ行くバスの便が無くなったので。
- ・福山など遠方には通わされない。
- ・中高一貫なので入試に受かりやすい。
- ・地元の高校に通って欲しい
- ・本人の希望 (2)

考察 ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が高くなるように中身の充実を図っていかなければならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いことから、町としてできる支援策を今後においても検討しながら、魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選び、該当番号に○印をしてください。

- ① 通学の便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
 ⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



⑩ その他（小学校）

・信頼できる教師がない。(2)

⑩ その他（中学校）

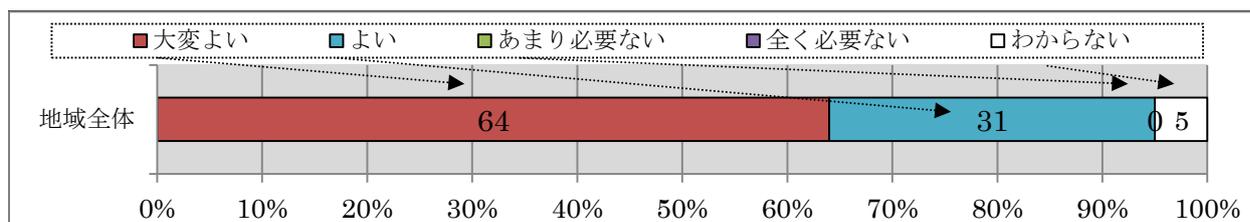
・大人が見学に行っても寝ている生徒が居たり，それを注意しない先生がいるので，プロジェクトなどがすごくても質の問題が心配。

考察 ・高校進路選択をする上で，特に重要視したいものとして多いのは，③「子ども本人の希望」，続いて⑤「教育内容面」，そして④「学習環境面」でした。

これらのことから，保護者の多くが「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり，児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要である。

5. 地域編

- 1 現在，油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業，部活動交流，学校行事への相互参加，教職員の交流など）が実施されていますが，そのことについてどう思いますか。



<意見> ・公立高校の在り方を…？ と，感じています。他の地域は？

考察 地域の多くの方々（95%）は，中高連携教育を「よい」とする肯定的回答がほとんどで，「必要ない」との否定的回答は0%であったが，今後更なる中身の充実を図り，情報提供していく必要がある。